

目次

第Ⅰ部 調査研究概要

1	調査研究概要	i
1. 1	本調査研究の目的	i
1. 2	調査研究内容	i
1. 3	調査研究方法	ii

第Ⅱ部 調査研究結果

1	日中韓における特許無効審判の制度比較	1
1. 1	日本における特許無効審判に関する制度	1
1. 1. 1	審判部の構成	1
1. 1. 2	特許無効審判制度の概要	2
1. 1. 3	訂正の請求について	8
1. 1. 4	口頭審理について	12
1. 1. 5	特許無効審判から裁判までの流れ	14
1. 2	中国における専利宣告請求（特許無効審判）に関する制度	15
1. 2. 1	審判部の構成	15
1. 2. 2	専利無効宣告請求制度の概要	16
1. 2. 3	専利無効宣告手続における専利書類の補正（訂正）について	20
1. 2. 4	口頭審理について	21
1. 2. 5	中国における証拠の提出について	24
1. 2. 6	専利無効宣告請求から審判から裁判までの流れ	27
1. 3	韓国における特許無効審判に関する制度	29
1. 3. 1	審判部の構成	29
1. 3. 2	特許無効審判制度の概要	30
1. 3. 3	訂正の請求について	36
1. 3. 4	口頭審理について	39
1. 3. 5	特許無効審判から裁判までの流れ	42
1. 4	日中韓の対比（対比表）	45
1. 4. 1	日中韓における特許無効審判の一般的な制度の対比	45
1. 4. 2	日中韓における特許無効審判の無効理由の対比	48
1. 4. 3	口頭審理に関する制度の対比	50
1. 4. 4	特許無効審判中の訂正の対比	52

2	日中韓における過去10年間（平成18年～平成27年）の法改正の経緯	55
2. 1	日本	55
2. 2	中国	61
2. 3	韓国	65
3	特許無効審判に係る統計情報の分析	73
3. 1	特許無効審判に係る統計情報及び分析方法	73
3. 1. 1	概要	73
3. 1. 2	統計分析の概要及び分析方法	73
3. 2	分析内容	75
4	海外ヒアリング	91
4. 1	概要	91
4. 2	中国におけるヒアリング調査結果の詳細	93
4. 2. 1	証拠の取扱いについて	93
4. 2. 2	権利化後の補正（訂正）の制限について	104
4. 2. 3	口頭審理について（期日・場所の決定、争点整理など）	112
4. 2. 4	専利権者の権利能力に関する無効理由について	120
4. 2. 5	その他	123
4. 3	韓国におけるヒアリング調査結果の詳細	131
4. 3. 1	証拠の取扱いについて	131
4. 3. 2	日本の制度（「審決の予告」）との対比について	140
4. 3. 3	口頭審理について（期日・場所の決定、争点整理など）	143
4. 3. 4	その他	151
5	国内アンケート及び国内ヒアリング調査	161
5. 1	概要	161
5. 1. 1	対象者	161
5. 1. 2	調査票について	161
5. 1. 3	結果概要	162
5. 2	国内アンケート調査結果詳細	163
5. 2. 1	基本情報	163
5. 2. 2	中国・韓国における特許無効審判の経験について	167
5. 2. 3	審判請求書の補正について	171
5. 2. 4	特許無効審判に関する期間について	183
5. 2. 5	口頭審理について	191
5. 2. 6	特許無効審判中の訂正について	195
5. 2. 7	費用について	205

5. 2. 8	特許無効審判にかかわる際の不安点	207
5. 2. 9	特許無効審判に関する情報の取得について	210
5. 2. 10	法改正に関する情報の取得について	213
5. 3	国内ヒアリング調査結果詳細	215
5. 3. 1	証拠の提出について	215
5. 3. 2	口頭審理について	223
5. 3. 3	公平性に関する感想	229
5. 3. 4	考え方の違いについて	232
5. 3. 5	無効審判と審決取消訴訟との違い	235
5. 3. 6	訂正について（中国のみ）	238
6	統計データ及びユーザーニーズを踏まえた、日中韓における無効審判制度のあり方 に向けての基礎となる論点について	241
6. 1	中国における専利無効宣告請求（特許無効審判）について	241
6. 2	韓国における特許無効審判について	245

第Ⅲ部 資料編

資料1	国内アンケート質問票	(1)
資料2	海外ヒアリング質問票	(15)
資料3	国内ヒアリング質問票	(17)

